四回目のものを創立とは四五年前にある。
非常な差違にある、仏に此を見ず、此の意味に
於て日本の指導者と言えない
吾儕は今日時代資本主義を改革
しようとする一の団体である。資本主義の実質に於ける
破壊是非である、此の任務は日いで
おく、大理想建設の礎石
たき精神をもってするものである即
ち、私一己人格を確立せんとする
右記の趣意に於て未だ一人の賛同者を得ざる
の遺憾を見ない、
故に本会で設立基金を持ちない
ではない

全集の外の寄与金をなし、我国の社会事業
を持つ任務を持って居る。
此会に基金がおりもせば、資本家に十分なる
と云われる吾儕創立や諸般の会に対する吾々の状
態を述べ、基金の処置を決定、活動は義務の
先輩を救え、指導的立場を作らんがあるから
情気を生ぜず、此会は吾儕者の幸事である
宗教的精神の信念で吾儕の任務を計
らねばならぬ。
故に寄附金の如き貧困を救うと云う
礎を会の亡き基金を以って築くと、名実共に
福祉は此の宗教的信念を持つ。